鳥取大学

産学・地域連携推進たより

- 研究推進に関する事業報告
- 地域貢献・生涯学習に関する事業報告
- 知的財産管理運用に関する事業報告
- 新任コーディネーター紹介

2016
夏号

研究推進に関する事業報告

1. パナソニックアドバンストテクノロジー㈱ソフト品質セミナー

【5 月 24 日(火) 開催:パナソニックアドバンストテクノロジー本社(大阪)】

昨年 11 月に開催された「大阪ビジネス交流会」をきっかけとしてパナソニックグループの R&D 部門の先端研究などのソフトウェア開発を担う同社で、工学研究科山田茂教授から「ソフトウェア品質管理の実践」の講演が開催されました。TV 中継により横浜、名古屋、広島の拠点を結んで同社のほぼ全員の約 400 名強が聴講しました。講演はソフト品質管理、プロジェクトの定量管理、オープンソースの評価法など現場課題に対する学問的アプローチに関するもので、全員熱心に聴講しました。山田教授は同分野の第一人者でもあり、これにより将来に亘る良好な関係が構築できました。

2. 鳥取大学セミナー in MOBIO 【5 月 27 日 (金) 開催 : ｸﾘｴｰｼｮﾝ･ｺｱ東大阪】

MOBIO 産学連携オフィス連続企画として鳥取大学主催のセミナーがクリエイション・コア東大阪で開催されました。鳥取大学工学研究科櫛田大輔助教から『熟練工のカン・コツを「見える化」し品質・生産性向上を目指す！』というテーマで 60 分の講演を行いました。金属加工の一分野である「ハンマー鍛造」にシミュレーション技術を用いて新人の教育、品質の安定化、ひいては熟練工の暗黙知の形式知化を図ろうというものです。東大阪地区は金属加工の一大集積地でもあり、セミナーにはほぼ満席となる 28 名が、交流会は 21 名の参加がありました。関心の高い企業も多く、予定時間を超えて活発な議論が交わされました。

地域貢献・生涯学習に関する事業報告

1. TORIDAI EDGE Talk Extra 【4 月 6 日(水) 開催:鳥取大学地域学部サテライトキャンパス SAKAE401】

本学産学・地域連携推進機構と地 (知) の拠点整備業の一環として、ワークショップ型の公開講座 TORIDAI EDGE を不定期で開催しています。今回は「その困りごと，大学にできることがありますか？」と題して、地域の課題に対して大学や行政地域住民の役割を議論し、「地域課題研究 B (地域貢献支援事業)」で取り上げるテーマを話し合う機会を設けました。これは本学が自治体等と連携して地域課題に対応する活動を支援する「地域課題研究 B (地域貢献支援事業)」の募集に先立って開催したものです。13 人の参加があり、活発な議論がなされました。初めての試みでしたが、今回の議論から生まれたテーマが実際に今年度の「地域課題研究 B (地域貢献支援事業)」に採択され研究がはじまったところです。今後もこのような場を通じて地域と研究者を繋ぐ試みを続けていきます。

2. サイエンス・アカデミー「生物を学ぶ・生物に学ぶ―遺伝子からバイオミメティクスまで―」

【4 月 9 日（土）開催：鳥取県立図書館】

本学では地域住民の皆様を対象に、本学の教員が行っている研究や日頃疑問に思っていることなど中心に、自然科学、技術、環境、地域社会に関する今日的問題等についてテーマ毎に紹介する「サイエンス・アカデミー」を毎月第 2・第 4 土曜日に開催しています。4～7 月は「生物を学ぶ・生物に学ぶー遺伝子からバイオミメティクスまでー」と題して、生物学の基礎から、生物の機能を医療や工学へ応用する研究まで幅広く講演を行う全 7 回のシリーズです。6 月までに、「遺伝子」・「昆虫」・「線虫」・「動物の生殖」といった基礎知識、そして「海洋生物」・「微生物（バクテリア）」の技術応用というテーマで計 6 回開催し、合計で 500 人超の参加者があるなど盛況となっています。

3. 平成 28 年度ものづくり協力会議 総会・懇親会

【4 月 12 日（火）開催：鳥取市文化センター】

総会には、役員・会員 50 人が参加しました。本学の法橋誠理事の挨拶の後、本協力会議会長・地域学部 土井康作教授から昨年度の事業報告・事業外部評価・収支決算報告、今年度の事業計画案・予算案の説明があり、全会一致で承認されました。また、今後のファブラボ運営(東･中･西部へ設置)について鳥取県から説明がありました。

4. 平成 28 年度第 1 回産学・地域連携推進室連絡会及び西部連絡会

【4 月 12 日（火）開催：鳥取大学産学・地域連携推進機構、5 月 26 日（木）開催：鳥取大学医学部アレスコ棟】

本学では県内機関の産学金官連携を深めるため、産学・地域連携推進室連絡会を毎月 1 回第 2 火曜日に開催しています。今年度第 1 回目の連絡会では 32 人のかたにご出席いただき、各機関の取り組みについてご報告いただいた後、産学・地域連携推進機構地域貢献・生涯学習部門 清水克彦副部門長が、機構及び連絡会の役割、組織体制等について説明し、参加機関へ協力要請を行いました。また、西部地区では 2 か月に 1 度程度、第 3 木曜日に医学部を会場に連絡会を開催しています。今年度第 1 回目の連絡会では 29 人のかたにご出席いただき、各機関の取り組みについてご報告いただいた後、鳥取大学 COC+事業統括コーディネーター 若良二特任教授が地（知）の拠点大学による地方創生推進事業について説明しました。

5.「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」開講

【4 月 13 日（水）開催：鳥取大学ほか】

文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」（平成 25～29 年度）では、地域を知り、地域の課題解決に向けて実践する学びをとおして「地域に対して好奇心を持ち活力と実践力ある人材」を養成するため、教育プログラムを充実させています。この科目は、昨年度「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」として、本学と連携協定を締結している日南町、大山町、琴浦町、南部町をフィールドに、各町の特色ある自然や産業についての教養を身につけるとともに、地域を学ぶ動機付けを行うことを目的として開設したも

のです。今年度は名称を変更し、3 月に連携協定を締結した智頭町を含めた 5 町をフィールドとしました。学生（12 人受講）は、実際に現場で体感した課題についてグループを通して問題意識を共有します。5 町の職員から各町について講義をいただいた後、林業後継者育成の取り組み視察（4/24、智頭町）、山間地での田植え体験（5/14、日南町）、大山寺周辺の視察（6/1、大山町）、鳴り石の浜と大山乳業訪問（6/11、琴浦町）、法勝寺地域振興協議会の活動体験（6/18、南部町）を行い、地域の方々と交流しました。7 月 13 日には報告会で課題に対する改善案を提案する予定です。

6. 第 1 回琴浦町芝収穫機開発・製作に係る会議　【4 月 13 日（水）開催：琴浦町役場防災会議室】

今年度第 1 回目となる本会を開催し、琴浦町と本学及び鳥取県、鳥取県産業振興機構、鳥取県芝生産組合等の関係機関が連携して、芝の収穫機開発・製作を実施することとなりました。

はじめに、琴浦町 山下一郎町長から、長年の懸案事項であった、芝の収穫・結束について、国の地方創生加速化交付金事業を活用して琴浦町と本学が委託契約を締結して実施することとなった経過の説明がありました。この日は、収穫機械のコンセプトと目標スペック及び今後のスケジュール調整を行いました。

芝収穫作業の工程として、①芝を筋きり⇒②剥ぎ取り⇒③選別・重ね⇒④結束⇒⑤搬出という流れの中、ボトルネックとなる、③選別・重ねと④結束の作業部分で、中腰・かがみ作業が発生しており作業の負担が大きく、伴って生産農家の高齢化が進み離農される方が多くなっています。そこで、農学部 野波和好准教授が携わり、拾い上げ・選別・重ね・結束の作業を半自動で行う機械を完成させ、生産農家の作業負担の軽減と生産向上を目指します。

7. 鳥取銀行寄附講座「マーケティング論」開講　【4 月 15 日（金）開催：鳥取大学】

本講座は講師に岡山理科大学の山口教授をお招きし、企業におけるマーケティングを如何に発想するかを論理的に考え、豊かなマーケティング発想力を育成することを目的としています。今年度は 94 人の受講生が熱心に講義を受けており、ゲスト講師として実際の経営者の方にも登壇いただいています。また、5 月 20 日には鳥取銀行の宮﨑正彦頭取（現会長）にご講演いただき、銀行業務の解説から鳥取銀行の経営理念とそれを実現させるための施策、地方創生として起業・創業支援や移住・定住促進に取り組んでいること、学生に期待すること等について、ご自身の経験を踏まえた臨場感溢れるお話をしていただきました。

8. 平成 28 年日野川の源流と流域を守る会第 1 回幹事会　【4 月 20 日（水）開催：日野振興センター】

今年度第 1 回目の幹事会では、幹事長のご挨拶ののち、今年度事業計画の実施について、今回は 8 月末までの通常事業として計画している、森林整備体験交流会＆県植樹祭参加、日野川写真塾、日野川一斉清掃への参加及び日野川の生き物調べ、日野川の自然環境と希少生物を守る体験活動、日吉津海岸クリーン作戦への参加及び日野川河口・海岸の学習の実施に向けて幹事間で意見交換を行いました。さらに日野川流域憲章記念事業として、日野川の素晴らしさを伝えるために日野川フォトコンテスト写真展の開催、森と水に親しむ活動支援事業などの実施に向けた意見交換や 15 周年記念事業の今後実施の予定、幹事会運営についても意見交換を重ねました。

9. 第 13 回文化芸術の夕べ　【5 月 16 日（月）開催：鳥取大学】

本学と鳥取県及び地域の文化活動に熱心に取り組んでいる機関が連携を促進することを目的として、「第 13 回文化芸術の夕べ」（主催：地域学部附属芸術文化センター）が開催されました。情報交換会には 43 人が参加し、各機関が活動紹介を行いました。交流会では、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換を行いました。

10. 鳥取県教育委員会との意見交換会　【5 月 26 日（木）開催：白兎会館】

本学と鳥取県教育委員会は、県内高等学校との連携や高大接続を円滑にすすめるため、例年意見交換会を開催しています。今年度は、障がいのある入学志願者や入学後の修学上の配慮、高大連携システム改革等の学生生活や教育支援の課題に加え、社会教育活動（生涯学習振興施策）について意見交換が行われました。

11. 鳥取県商工会連合会と鳥取大学との連絡会【5 月 31 日（火）開催：鳥取県商工会連合会会館】

本学では商工会地域企業の経営革新支援や技術開発支援等を効果的に推進していくため、毎年、鳥取県商工会連合会と連絡会を開催しています。平成 19 年度から始まり、今年で 10 回目の連絡会となった今回は 22 人が出席しました。鳥取大学 COC+事業統括コーディネーター 若良二 特任教授による COC+事業の説明があった後、鳥取県商工会連合会からは本学教員との現在進行中の連携事業の経過報告、今後支援を希望している事業についての説明がありました。

その後の意見交換では、近年連携事業が減少しているなどの意見が出て活発な意見交換が行われ、より一層の情報共有化と地域産業振興を図ることと、「商工会だより」にインターンシップや各学部の紹介など、本学の事業を掲載することを確認しました。

12. 平成 28 年度鳥取大学振興協力会役員会及び総会

【6 月 7 日（火）開催：ホテルニューオータニ鳥取】

会員 102 人に参加いただいた今年度の会員総会では、昨年度の事業報告と今年度の事業計画等が承認されました。羽馬好幸会長（気高電機(株)代表取締役社長）からは、変化をチャンスと捉えて新しい一歩を踏み出すにあたり、引き続き会員の皆様の協力をいただき運営していきたい旨挨拶がありました。講演会では、歯科総合診療装置などデンタル製品分野のフロントランナーである(株)モリタ製作所（本社：京都府京都市）から、経営企画室 伊藤敦夫部長・第二研究開発部　岩本眞吾次長を講師に招き、同社の製品研究開発の歴史や、4 月から操業を開始した倉吉工場の将来展望等についてご紹介をいただきました。その後、本学医学部附属病院次世代高度医療推進センター 上原一剛准教授が当センターの研究開発支援と人材育成の取組みについて紹介し、最後は交流会により会員同士の交流を深めました。本会は皆様のご意見を伺いながら活発で効果的な会となるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

13. 第 20 回因幡の手づくりまつり　【6 月 12 日（日）開催：智頭街道商店街＆五臓圓ビル】

ものづくりの楽しさを体験してもらうことを目的とした「第 20 回因幡の手づくりまつり」を開催しました(鳥取大、鳥取環境大、鳥取看護大、鳥取短期大、智頭街道商店街振興組合などが共同で開催)。学生や地元商店街の店主、職人、近くの遷喬小の児童ら約 240 人が講師、スタッフとして参加。竹細工や紙のおもちゃなど、手づくり体験ができる 40 を超えるブースが並び、約 1,200 人の親子連れでにぎわいました。また、11 日には鳥取市福祉文化会館にて、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の川口淳一郎教授による「惑星探査ロケット『はやぶさ』の技術」と題した記念講演が開かれました。

14. TORIDAI EDGE cafe　【6 月 22 日（水）開催：鳥取大学地域学部サテライトキャンパス SAKAE401】

本学産学・地域連携推進機構と地（知）の拠点整備事業の一環として、ワークショップ型の公開講座 TORIDAI EDGE を不定期で開催しています。TORIDAI EDGE は通常、EDGE Cafe と EDGE Talk をセットとして開催し、Cafe では専門家からテーマに関連したレクチャーを受け、Talk で参加者同士が対話するワークショップを開催します。

今回はゲストスピーカーとして本学地域学部の塩沢健一准教授を招き、「民意は誰がどう作る？」と題して参議院議員選挙、18 歳選挙権等を題材に EDGE Talk を開催しました。16 人の参加があり、レクチャーに耳を傾けていました。

15. 平成 28 年度第 1 回南部町・鳥取大学連携事業連絡会

【6 月 29 日（水）開催：南部町役場天萬庁舎】

南部町と本学との連携事業の推進を目的として、南部町・鳥取大学連携事業連絡会を開催しました。今年度第 1 回目となる今回は、坂本昭文町長、法橋誠理事をはじめ 25 人の出席をいただき、これまで行ってきた事業の経過報告や今年度実施する事業計画の確認、町政の課題についての意見交換を行いました。次回は秋ごろに開催し、連携事業の進捗状況や来年度以降の新たな事業について協議する予定です。

16.「バリアフリー体験講座」第 1 回 あいサポート研修会　【6 月 30 日（木） 開催：鳥取大学】

本学学生支援センター主催の「バリアフリー体験講座」の一環として「あいサポート研修会」を開催し、教職員の希望者が受講しました。あいサポートメッセンジャーの上田洋子様にあいサポート運動やあいサポーターの目的、趣旨等についてご説明いただき、DVD でさまざまな障がいの特性や必要な配慮を学びました。

知的財産管理・運用に関する事業報告

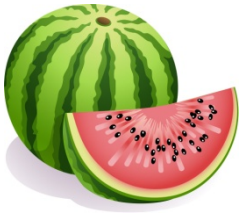
1. 平成２８年度　中国地域産学官連携コンソーシアム運営会議　【5 月 20 日（金） 開催: 岡山大学】

中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）の事業報告及び事業計画の協議を行う運営会議が岡山大学で開催されました。今回、正会員１５校と特別会員１３機関の参加がありました。会議では、平成２７年度外部評価委員会報告、平成２８年度事業計画について、報告を行い、活発な質疑が行われました。

2. 三菱電機株式会社 顧問 堤 和彦氏 講演会

【6 月 27 日（月）開催：鳥取大学】

三菱電機（株）の堤和彦顧問による「総合電機メーカの研究開発」と題した学部キャリア科目授業として、講演会が行われました。授業履修生 23 名に加え、大学院生９名、教職員４名、学外５名の計 41 名が聴講しました。講演会では、最先端の研究開発事例が紹介され、聴講者は熱心に耳を傾けていました。



新任コーディネーター紹介

鳥取地区

氏名：**田尾　龍治**
前職：日立製作所、かがわ産業支援財団プロジェクトディレクター
専門分野：医用分析機器、電気化学センサー、分析化学、MEMS
抱負：
5 月 18 日に鳥取大学に赴任しました。日立製作所で医療機器の製品・事業開発や産学連携に、香川で文部科学省の地域イノベーション事業に従事した経験や人脈を研究推進に活かしたいと考えています。ご指導をよろしくお願いします。
　好きなことはグルメとオペラ鑑賞です。健康オタクと自負し、食事は塩分、糖質、プリン体に気をつけ、ジムに週３回通って来シーズンのマラソン大会に向けたトレーニングに励んでいます。広島市安佐南区に家があり、マツダスタジアムでビールを飲むのも楽しみです。

発行日：平成 28 年 7 月 15 日＜第 45 号＞　　連絡先：鳥取大学産学・地域連携推進機構
所在地：〒680-8550 鳥取市湖山町南 4-101　　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/
TEL:0857-31-5609　　Fax:0857-31-5571　　E-mail:ken-somu@ml.adm.tottori-u.ac.jp